

福崎町制60周年記念 井上通泰生誕150年記念

第37回山桃忌

今年のテーマは「妖怪」!

8/6(土)第1部「山桃忌と妖怪」要予約

13:10~17:00

式典、吉備舞、基調講演、記念講演、シンポジウム

8/7(日)第2部「神楽の中の妖怪たち」予約不要

13:00~15:30

ひろしま安芸高田神楽上演
演目: 葛城山、恵比須舞、八岐大蛇

8/8(月)第3部「日韓共同学術会議」予約不要

9:30~15:10

研究発表、シンポジウム

8月6日(土)~8日(月)

会場: 福崎町エルデホール

<問い合わせ・申し込み>

福崎町教育委員会 社会教育課

電話: 0790-22-0560



福崎町立
柳田國男・松岡家記念館
〒679-2204

神崎郡福崎町西田原
1038の12
電話: 0790-22-1000



山県有朋との出会い

常磐会の発足

通泰は、岡山から再び東京へ移り、井上医院を開業します。眼科医として診療する中、文学の友である、森鷗外や賀古鶴所と交流し、歌の研究にも熱心に取り組みました。新聞「日本」歌壇の選者となり、歌評「城南荘歌話」を連載しました。

この記事に注目したのが山県有朋(陸軍軍人・政治家)でした。山県との出会いにより、常磐会が発足され、そして、一介の眼科医が御歌所寄人に任ぜられるきっかけにもなりました。



『常磐会詠草』

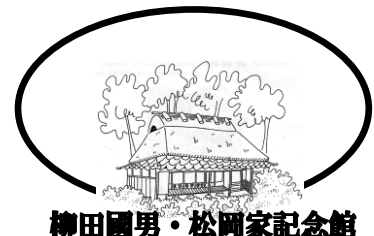
常磐会は、先月号でも少し紹介しましたが、明治39年につくられた歌会です。山県が発案し、発足に尽力した鷗外と鶴所が幹事をつとめ、通泰は選者の1人となりました。全185回の会が開かれましたが、山県の逝去によって閉会しました。会の選歌は、『常磐会詠草』として5篇刊行されました。

通泰の号である「南天荘」と名乗りはじめたのもこの頃です。

また、松岡家の人々や文人らとの交流を示す資料も展示しています。ぜひ、お越しください。



愛用の天秤 (姫路文学館蔵)



柳田國男・松岡家記念館

☆☆入館案内☆☆

☆開館時間

9時~16時30分
(入館は16時まで)

☆休館日

月曜日、祝日の翌日
12月28日~1月4日

☆入館料

無料

井上通泰展

歌を詠み愛した眼科医

入館無料

福崎町制60周年記念 井上通泰生誕150年記念展

記念館では、11月27日(日)まで、井上通泰展を開催しています。

通泰の生誕150年を記念して開催する本展は、眼科医・歌人・国文学者として活躍した通泰の業績を、貴重な資料をもとに紹介しています。

また、松岡家の人々や文人らとの交流を示す資料も展示しています。ぜひ、お越しください。

ふるさと学習を終えて

6月29日・30日の2日間、町内の小学5・6年生と中学生がふるさと学習を行いました。

講師は、記念館顧問の石井正己先生で、「柳田國男と昔話」と題してお話いただきました。柳田國男が民俗学の研究として、昔話を集め調べていたこと、昔話が、うつろう社会のなかで変化し続けていることなどがわかりやすく紹介されました。



昔話と伝説のちがいは? (福崎西中学校)

